

選評 | たくさんのご応募ありがとうございました。

ご応募いただいた写真総数 3,740 点の中から大賞 1 点、優秀賞 2 点、佳作 5 点を選考し、受賞作品の選評をいただきました。



板見 浩史先生

フォトエディターとして多くの写真賞やコンテストの審査員を担当。
一般社団法人日本フォトコンテスト協会代表理事。
公益社団法人日本写真協会顧問。

大賞

3・4月

優秀賞

1・2月

優秀賞

9・10月

佳作

5・6月



春がすみ

三重県・明石義男さん

選評

香川県の紫雲出山（しうでやま）は瀬戸内海の多島美を一望できる絶好のスポット。特に春は桜の撮影地として知られ、多くの写真家を魅了しています。この作品は気象条件にも恵まれ、朝の陽光と春霞が混然一体となり夢のように美しい景色を作り出しました。画面構成も巧みで、枝ぶりの良い桜の先に重なり合う島々が遙かな世界へと視線を誘います。



朝焼けのウルル

北海道・泉直宏さん

選評

「地球のヘン」とも呼ばれるオーストラリアのウルル（エアーズロック）。世界で二番目に巨大な一枚岩である高さ 335 メートルの岩山は鉄分を含んでおり、朝陽や夕陽を浴びて真っ赤に輝きます。この作品はその特徴を余すところなく伝えていて、縦にクッキリと刻まれた特徴的な岩壁と美しい色彩を、どっしりとした存在感で確に描写しています。



紅葉の衣

青森県・今田裕さん

選評

青森県十和田八幡平国立公園の紅葉。まさに錦秋の衣をまとった山々を見事にフレーミングしました。複雑に交錯する稜線に沿って、秋の色彩を愛でながら画面を辿る眼の至福。左の遙か彼方に霞んで見えるのは名峰岩木山でしょうか。人工物の一切ない無垢の山々の繊細な美しさ。この日本に生まれたことの有り難さを感じさせてくれる一枚です。



変わらない賑わいのベネチア

東京都・ベンネームなみへーさん

選評

水の都ベネチア、昔から映画や小説などの舞台で知られるイタリアの都市。近年、海面上昇の懸念もあったものの旅行者の人気は相変わらず。爽やかな空とカラフルな町並みとのコントラストも美しく、ゴンドラをポイントに賑わう運河の様子をうまく捉えています。

佳作

7・8月

佳作

11・12月

佳作

新緑に映える滝

東京都・吉田広正さん



四季彩の丘 北海道

神奈川県・太田美代子さん

選評

国内外からの観光客に根強い人気の美瑛の花畠。フレーミングと露出設定によって自分なりの「絵」を描けるのがこの場所の愉しさ。作者は露出をやや控えめに、空を大きく撮り入れ、ややシックな風景画に仕上げました。雲の動きを活かした大胆なセンスが光ります。



ダイヤモンド富士

千葉県・平野勇さん

選評

山中湖村「花の都公園」から撮影のダイヤモンド富士。山頂点に鎮座する太陽の輝きが神々しく写し止められました。山頂周辺の雲の量が多かったようですが、むしろ山容がはっきり見え過ぎず、このくらいに留まったことで却ってドラマチックになったと思います。また紅葉や雪の時期にも訪ねて写真を撮りたいと感じる場所でした。



岸辺の鮮やかな緑の中、豪快に流れ落ちる滝の様子と、その景色を楽しむ観光客の姿を収めることを意識して撮りました。滝の中に落ちないかと心配になるような迫力でしたが、落ちていて撮影できたと思います。また紅葉や雪の時期にも訪ねて写真を撮りたいと感じる場所でした。

選評

群馬県吹割の滝を迫力満点で切り取った作品です。カメラアングルを低くして手前の流れを広く撮り入れたことで水音の轟きさえ聞こえそう。画面中央の巨大な滝つぼに吸い込まれそうな効果が生まれました。対岸の新緑もとても鮮やかに描写されています。

佳作

夜明けの吊るし雲

静岡県・山本寿子さん



夜明け前、夫婦で訪れた田貫湖で撮影した一枚です。当日は天候に恵まれ、雲の量も適度で絶好の撮影日和。初秋の早朝、寒さに身を震わせながら風が止むまで粘って撮ったこの作品は、朝焼けと逆さ富士が美しく、特に満足のいく出来栄えとなりました。

選評

静岡県の田貫湖から望む、目の覚めるような鮮やかな朝焼けの富士。吊るし雲を肩に乗せた明瞭な富士山のシルエットとくっきりとした色彩のコントラストから、澄み切った早朝の空気感がしっかり感じられます。風も穏やかなようで逆さ富士の描写も見事です。